



平成 20 年 6 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社アドテック
代 表 者 名 代表取締役社長 林 芳弘
(J A S D A Q コード 6 8 4 0)
問 合 せ 先 執行役員管理本部長 滝上圭一
電 話 03-6736-5300

親会社等に関する事項について

1. 親会社等の商号等

(平成 20 年 3 月 31 日現在)

親会社等	属性	親会社等の議決権所有割合 (%)	親会社等が発行する株券が上場されている証券取引所等
シンデン・ハイテックス株式会社	上場会社が他の会社の関連会社である場合における当該他の会社	24.3	非上場
株式会社MC J	上場会社が他の会社の関連会社である場合における当該他の会社	15.6	株式会社東京証券取引所 (市場マザーズ)

2. 親会社等のうち、上場会社に与える影響が最も大きいと認められる会社の商号又は名称及びその理由

商 号 シンデン・ハイテックス株式会社
理 由 筆頭株主であり、部材の購入および製品の販売において重要な取引先であるため

3. 親会社等の企業グループにおける当社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

シンデン・ハイテックス (株) は、当社議決権の 24.3%を所有する筆頭株主でありますその他の関係会社です。同社は半導体取引を含むエレクトロニクス商社であり、同社との協業を推進するため、一定の株式を所有していただいております。取締役を含む人的交流のほか購入および販売面において協業体制が確立されております。また、同社の子会社との間にも購入取引があります。具体的な取引関係によるメリットとしては、人的交流による半

導体価格動向や業界動向等の情報交換を通じて、メモリモジュール製品において購入面での部材の安定した調達、販売面では協業によるOEMビジネスの拡大が図られております。なお、購入および販売価格は市場価格を勘案してその都度価格交渉の上決定しており、支払および回収条件についても原則として他社と同様の条件としております。

また、協業を推進し経営の強化のため兼任取締役を2名を受け入れておりますが、取締役8名のうち同社の兼任取締役の占める割合は半数には至らず、当社の独自の経営判断を妨げるものではなく、一定の独立性が確保されていると認識しております。

協業効果によるOEMビジネスの増大により販売面では同社に対する総売上比率は増加しておりますが、今後とも双方にとって有益となる協力関係を保ちながら事業展開を図る方針であります。

(株)MC Jは、同社グループ会社を統括・運営する持株会社であり、当社議決権の15.6%を所有するその他の関係会社であります。当社の事業拡大および企業価値向上を目指し平成18年9月に同社と業務・資本提携を行い兼任取締役1名のほか取締役2名を受け入れております。

同社グループ会社との間に購入・販売取引があります。具体的な取引関係によるメリットとしては、当社製品を同社が取扱うPCおよびPC関連製品に組み込んで販売するほか、同社グループよりリテール向け製品を購入するなど提携の効果は徐々に拡大しており同社に対する総売上比率は増加しております。なお、購入および販売価格は市場価格を勘案してその都度価格交渉の上決定しており、支払および回収条件についても原則として他社と同様の条件としております。

今後とも双方にとって有益となる協力関係を保ちながら事業展開を図る方針であり、兼任取締役の就任状況は当社の独自の経営判断を妨げるものではありません。

(役員)の兼務状況)

(平成20年3月31日現在)

役職	氏名	親会社等又はそのグループ企業での役職	就任理由
非常勤取締役	城下 保	シンデン・ハイテックス (株) 代表取締役社長	協業を推進し経営の強化を図るため
非常勤取締役	齊藤敏積	シンデン・ハイテックス (株) 取締役管理本部長	協業を推進し経営の強化を図るため
非常勤取締役	上澤 馨	(株)MC J 取締役ITC DIV. 業務統括責任者	協業を推進し経営の強化を図るため

4. 親会社等との取引に関する事項

平成20年5月16日に発表いたしました「平成20年3月期決算短信(非連結)」の22ページ「関連当事者との取引」に関する注記をご参照ください。

以 上